

**令和 3 年度 3月補正予算 主要な事業の説明書**

**(一般会計)**

**令和4年 第1回 嬉野市議会定例会提出**







【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	自立支援給付費(介護・訓練等給付)			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	③障がい者		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	47	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

障がい者自らがサービスを選択し、サービスを提供する指定事業者・施設との契約によりサービスを利用することを目的とする。サービスに要する費用の一部、または全額を給付することで、利用者の経済的負担を軽減し、もって福祉の増進に資する。

2. 事業内容

- 居宅介護サービス:ホームヘルパーが掃除、洗濯、食事の用意などの支援を行う。
- 短期入所:家族等支援者が不在のとき等に施設を利用する。
- 施設入所支援サービス:家庭での生活が困難な者等が施設に入所し、年間を通して支援を受ける。
- 就労支援サービス:障がいを持つために一般就労が困難な者に対し、日中活動として働く場を提供する。

3. 全体計画		事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 3 年度	事業費(千円)	2,964,097
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容		・居宅介護・短期入所 ・施設入所支援 ・就労支援サービス ・計画相談支援	・居宅介護・短期入所 ・施設入所支援 ・就労支援サービス ・計画相談支援	・居宅介護・短期入所 ・施設入所支援 ・就労支援サービス ・計画相談支援	・居宅介護・短期入所 ・施設入所支援 ・就労支援サービス ・計画相談支援
事業費(単位:千円)	補助率	708,981	722,048	745,848	787,220
財源内訳					
国庫支出金	50%	363,088	363,625	371,775	393,173
県支出金	25%	181,544	181,812	185,887	196,586
市債					
ふるさと応援寄附金					
その他					
一般財源		164,349	176,611	188,186	197,461

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
(当初予算)			
役員費	(手数料)		874
扶助費		743,550	
今回追加補正			
扶助費	今年度見込額 786,346,000円		
	786,346,000円 - 743,550,000円 = 42,796,000円	42,796	
計		786,346	874

5. その他参考となる事項

現予算事業費	744,424 千円
3月補正事業費	42,796 千円
(補正財源内訳)	
国庫支出金	21,398 千円
県支出金	10,699 千円
一般財源	10,699 千円
補正後事業費	787,220 千円

【様式1】 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい児通所給付費等事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	③障がい者			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	47	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

障がい児に対し日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行う。

2. 事業内容

就学前の障がい児(児童発達支援)、就学の障がい児(放課後等デイサービス)に日常生活等の適応指導を行う。  
 外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行う。  
 保育所等に訪問し、障がい児に集団への適応指導等を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 3 年度		事業費(千円)	382,197
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業内容		児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援	児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援	児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援	児童発達支援 居宅訪問型児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援	
事業費(単位:千円)		補助率	71,611	85,127	103,023	122,436
財源内訳	国庫支出金	50%	34,394	39,800	50,061	61,080
	県支出金	25%	17,197	19,900	24,875	30,540
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
その他						
一般財源			20,020	25,427	28,087	30,816

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
役務費	(手数料)障がい児通所給付費等事務	
	182円×1,514件=275,548円	276
扶助費		112,160
	今回追加補正	
扶助費	今年度見込額 10,000千円	
	122,160千円 - 112,160千円 = 10,000千円	10,000
計		122,160 276

5. その他参考となる事項

現予算事業費	112,436 千円
3月補正事業費	10,000 千円
(補正財源内訳)	
国庫支出金	5,000 千円
県支出金	2,500 千円
一般財源	2,500 千円
補正後事業費	122,436 千円







【様式1】

## 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費		項	2 児童福祉費		目	2 母子父子福祉費			事業名	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業				
総合計画による位置づけ			基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野		①妊娠・出産・子育て				
実施主体		市	所属部		市民福祉部		所属課		子育て未来課		予算書ページ		50	新規	○	継続

## 1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給する。

## 2. 事業内容

【事業内容】新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親子育て世帯を支援するため、特別給付金を支給する。  
 【給付額】児童1人当たり一律5万円  
 【支給対象者】令和3年4月分の児童扶養手当の受給者、公的年金等受給者、家計急変者  
 【補助割合】国10/10

3. 全体計画		事業期間 令和 3 年度 ~ 令和 3 年度		事業費(千円)	17,228
実施年度					令和3年度
事業内容					子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)
事業費(単位:千円)		補助率			17,228
財 源 内 訳	国庫支出金	10/10			17,228
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
	一般財源				

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報酬	会計年度任用職員(113,109円×2月=226,218円)	227	
職員手当等	超過勤務手当 2,550,450円	2,551	
共済費	会計年度任用職員(1名2月) 43,155円	44	
旅費	費用弁償 会計年度任用職員(1名2月) 通勤手当 20,000円	20	
需用費	消耗品費 210,000円 印刷製本費 20,000円	230	
役務費	通信運搬費 郵便料 42,000円 手数料 36,300円	79	
委託料	システム改修費	100	
扶助費	333人×50,000円	16,650	
	【今回減額補正】		
職員手当等	超過勤務手当 Δ1,500,000円	Δ 1,500	
委託料	システム改修費	Δ 23	
扶助費	見込 Δ23人×50,000円	Δ 1,150	
	計	17,228	

## 5. その他参考となる事項

第2号補正予算事業費	19,901千円
3月補正事業費	Δ2,673千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	Δ2,673千円
補正後事業費	17,228千円

【様式1】 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 母子父子福祉費	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	①妊娠・出産・子育て		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ページ	50	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童並びにひとり暮らしの寡婦の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と福祉の向上を図る。

2. 事業内容

市内在住のひとり親家庭等に、保険適用分の医療費の一部を助成する。自己負担は、一月に一人あたり500円とする。児童扶養手当と同額の所得制限あり。

3. 全体計画		事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 3 年度	事業費(千円)	58,588
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容		ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等医療費助成事業
事業費(単位:千円)	補助率	15,264	13,537	14,135	15,652
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1/2	6,692	5,980	6,479
	市債				
	ふるさと応援寄附金		6,000	6,000	
	その他				1
一般財源		2,572	1,557	7,656	8,569

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
需用費	消耗品費(受給者証台紙、紙他)15,650円		16
役務費	通信運搬費(郵送料 84円×300通) 25,200円		26
扶助費	ひとり親家庭等医療費助成 14,460,000円	13,014	1,446
	【今回追加補正】		
扶助費	(実績見込額)15,610,000円-(当初予算額)14,460,000円=1,150,000円	1,150	
計		14,164	1,488

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	14,502千円
3月補正事業費	1,150千円
(補正財源内訳) 県支出金	575千円
一般財源	575千円
補正後事業費	15,652千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり		政策分野	⑤健康・医療		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	予算書ページ	53	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市内医療機関の協力を得て、住民がかかりつけ医で安心して新型コロナウイルスワクチンの接種を受けることができる環境を整える。  
オンライン診療等の活用や、マイナンバーカードの活用を推進することにより住民の利便性を図る。

2. 事業内容

- ①ワクチン接種に協力していただく医療機関に協力金を支払う。
- ②マイナンバーカードによるオンライン資格確認のための顔認証付きカードリーダーの配布申し込みを完了した医療機関を支援する。
- ③オンライン診療・処方・予約・面会を導入・継続する医療機関を支援する。

3. 全体計画		事業期間	平成	年度	～	令和	3	年度	事業費(千円)	26,000
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
事業内容								新型コロナウイルス対策等応援協力金		
事業費(単位:千円)								26,000		
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	地方創生臨時交付金							20,000		
一般財源								6,000		

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助金及び交付金	新型コロナウイルス感染症対策応援協力金	32,000	
	【今回補正額】△6,000千円	△6,000	
計		26,000	

5. その他参考となる事項

令和3年3月補正事業費	32,000千円
令和4年3月補正事業費	△6,000千円
(補正財源内訳)	26,000千円
地方創生臨時交付金	20,000千円
一般財源	6,000千円
補正後事業費	26,000千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費	事業名	災害等廃棄物処理事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			④ごみ・環境保全
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		予算書ページ	54	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨災害により被害を受けた家屋等で、生活環境保全上支障のある家屋等を、自らの費用負担によって解体撤去又は処分等を行なった者に対し、補助金を交付し、被災者の生活再建支援を図るもの。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨被災家屋等の災害廃棄物処理(被災家屋等の解体・分別・撤去・処分)

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度	事業費(千円)	12,000
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容					災害等廃棄物処理事業
事業費(単位:千円)		補助率			12,000
財源内訳	国庫支出金	1/2			5,332
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他				
一般財源					6,668

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金, 補助及び交付金	災害等廃棄物処理事業	16,000	
	住居及び物置 3棟 511.18㎡		
	【今回補正(減額)】	-4,000	
計		12,000	

5. その他参考となる事項

【令和3年8月豪雨被災家屋等自主解体撤去費補助事業】

○環境省補助事業 : 災害等廃棄物処理事業

第9号補正事業費	16,000 千円
3月補正事業費	-4,000 千円
(補正財源内訳)国庫支出金	-2,668 千円
市債	-1,600 千円
一般財源	268 千円

補正後事業費 12,000 千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	事業名	農業委員会による情報収集等業務効率化支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	市	所属部		所属課	農業委員会事務局		予算書ページ	56	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

農業委員会が行う農地利用状況調査・農地利用意向調査等の現場活動において収集した情報をタブレット端末を用いて現場でデータベースに登録することが可能となり、農地情報の迅速かつ効率的な収集及び報告書作成等の事務負担の軽減が図れる。

2. 事業内容

農業委員会が現場活動において収集した情報を迅速かつ効率的に把握し、関係機関と情報共有するため専用プログラムを備えたタブレット端末を導入する。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度	事業費(千円)	280
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容					タブレット端末導入
事業費(単位:千円)		補助率			280
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	定額			280
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
その他					
一般財源					

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
備品購入費	タブレット端末 単価40千円×7台	280	
	計	280	

5. その他参考となる事項

【様式1】 **令和3年度** 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費	事業名	営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業						
総合計画による位置づけ			基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野		①農業				
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	56	新規		継続	○

## 1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨による浸水害等により農作物等の被害を受けた農業者の早期の営農再開と経営の安定を図るため、種子種苗または生産資材等の購入費に対する補助を行う。

## 2. 事業内容

**園芸対策**【営農再開等支援対策】被災した野菜の再定植等に必要となる生産資材(種子、種苗、マルチ等の一年限りの消費財に限る)の購入に要する経費に対する支援(補助率) 県 1/3 (受益農家が令和元年豪雨に続き2回以上被災された場合並びに就農後3年以内の新規就農者の場合は 1/2)、市 1/10  
**【草勢樹勢回復等対策】** 草勢の維持、回復や病害対策のために必要となる生産資材(葉面散布材、殺菌剤、肥料、堆肥、酸素供給剤等)の購入に要する経費に対する支援(補助率) 県 1/3 (受益農家が令和元年豪雨に続き2回以上被災された場合並びに就農後3年以内の新規就農者の場合は 1/2)、市 1/10  
(上限事業費) きゅうり:25,000 円/10a、トマト:20,000 円/10a、露地みかん:24,000 円/10a  
**農産対策**【営農再開等支援対策】 令和4年産の作付けに用いる水稻及び大豆種子を供給するために要する経費に対する支援(補助率) 県 1/3 (受益農家が令和元年豪雨に続き2回以上被災された場合並びに就農後3年以内の新規就農者の場合は 1/2)、市 1/10

3. 全体計画	事業期間	令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業費(千円)	754
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容		生産資材および種子の購入に対する補助	生産資材および種子の購入に対する補助	生産資材および種子の購入に対する補助		
事業費(単位:千円)	補助率		8	62		684
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金	1/3、1/2		5	47		530
市債						
ふるさと応援寄附金						
その他						
一般財源			3	15		154

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内容	補助	単独
内		
負担金、補助及び交付金		
補助金		
園芸対策 (草勢樹勢回復等対策) 864千円	864	
【今回補正】		
園芸対策 (草勢樹勢回復等対策) (営農再開等支援対策)		
△290千円	-290	
農産対策 (営農再開等支援対策) 2事業主体		
110千円	110	
計	684	

## 5. その他参考となる事項

12月補正事業費	864千円
3月補正事業費	-180千円
(補正財源内訳) 県支出金	-185千円
一般財源	5千円

補正後事業費 684千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費	事業名	ハウス団地基盤整備事業					
総合計画による位置づけ		基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業				
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	56,57	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

近年、市内では新規就農者の施設園芸が中心であり、今後もトレーニングファーム卒業生や意欲ある就農者の増加が見込まれる。しかし、施設園芸の場合、水源、日照、土壌等の条件が良い圃場の選定および、ハウスを建設するための土地の造成等に必要な資金の面において苦慮されているのが現状である。そのため、ハウス団地を整備することにより、新規就農者の圃場選定の課題を解決し、さらには土地の造成に対する費用削減を図ることで、新規就農者の負担軽減と安定した営農形態の確立、更には市外からの新規就農者の確保による移住促進を図る。

2. 事業内容

ハウス団地整備地区の暗渠排水、土層改良、区画整理工等の整備を行う。また、前耕作者への事業実施に伴う作物補償(麦)をおこなう。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 年度		事業費(千円)
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業内容				ハウス団地基盤整備
	事業費(単位:千円)				101,096
	補助率				
財源内訳	国庫支出金				47,740
	県支出金	55%			13,020
	市債	15%			
	ふるさと応援寄附金				15,000
	その他				
	一般財源				25,336

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
委託料	実施設計 13,112千円、2工区設計業務 1,700千円	14,812	
	整地費用等		3,700
	【今回追加補正】3工区設計業務	800	
	【今回追加補正】整地業務		3,000
工事請負費	基盤整備(1工区 29,888千円、2工区 29,800千円)	59,688	
	暗渠排水、張りコンクリート		4,400
	【今回追加補正】3工区基盤整備	11,500	
負担金、補助及び交付金	負担金 150千円、補助金 1,200千円		1,350
	【今回減額補正】補助金 △1,200千円		-1,200
補償、補填及び賠償金	作物補償		3,046
	計	86,800	14,296

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	47,996千円
9月補正事業費	35,900千円
12月補正事業費	3,100千円
3月補正事業費	14,100千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	6,757千円
県支出金	1,843千円
一般財源	5,500千円
補正後事業費	101,096千円

【様式1】 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	産地生産基盤パワーアップ事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業				
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	57	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

国が定める産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱に基づき取組主体が行う事業に要する経費を補助することにより、産地の高収益化に向けた取組や園芸作物等の生産基盤の強化を図るための取組を総合的に支援する。

2. 事業内容

園芸団地への入植者を受益者として含む農業者の組織する団体が行う低コスト耐候性ハウスの整備に係る費用の一部を助成する。  
補助率 国1/2以内、県4/20以内(上限1,200万円)、市1/20以内(上限300万円)

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	954,128
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容				低コスト耐候性ハウス	低コスト耐候性ハウス
事業費(単位:千円)				42,900	911,228
補助率					
財源内訳	国庫支出金	1/2			
	県支出金	4/20		40,040	877,251
	市債				
	ふるさと応援寄附金				
	その他(雑入)				16,449
一般財源	1/20			2,860	17,528

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	(負担金) 補助金交付窓口である武雄市への負担金	2,528	
	(補助金)		
	【今回追加補正】 3件 908,700千円	908,700	
	内訳		
	きゅうり低コスト耐候性ハウス 646,055千円		
	トマト低コスト耐候性ハウス 140,645千円		
	育苗ハウス 122,000千円		
計		911,228	

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費	0円
9月補正事業費	2,528千円
3月補正事業費	908,700千円
(補正財源内訳)	
県支出金	877,251千円
その他(他市町負担金)	16,449千円
一般財源	15,000千円
補正後事業費	911,228千円



【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 4 茶業振興費	事業名	さが園芸生産888億円推進事業						
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	57	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるとともに、農業者を育成することにより経営の安定を図る。

2. 事業内容

農業者が組織する団体に対し県費1/2・1/3以内、市費1/10以上の助成を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成	年度	～	令和	年度	事業費(千円)	
実施年度			平成30年度			令和元年度		令和2年度	令和3年度
事業内容			茶生産、加工施設・機械等整備費への補助			茶生産、加工施設・機械等整備費への補助		茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助
事業費(単位:千円)		補助率	60,754			16,077		20,491	28,972
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金	1/2	46,723			12,778		16,687	24,141
	市債								
	ふるさと応援寄附金								
その他									
一般財源			14,031			3,299		3,804	4,831

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金			
補助金	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	30,730	
【今回補正(減額)】		-1,758	
計		28,972	

5. その他参考となる事項

補正前事業費	30,730 千円
3月補正事業費	△ 1,758 千円
(補正財源内訳) 県支出金	△ 1,465 千円
一般財源	△ 293 千円
補正後事業費	28,972 千円

【様式1】

## 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	茶園基盤整備推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業				
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	57	新規		継続	○	

## 1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨災害で被災した災害復旧事業で対象とならない茶園を早期に復旧することにより来季における良質茶の生産を図る。

## 2. 事業内容

令和3年8月豪雨で被災した茶園基盤復旧に係る経費に対して助成を行う。

3. 全体計画		事業期間 平成 年度 ~ 令和 年度				事業費(千円)	
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容		茶園基盤復整備に係る費用助成	茶園基盤整備に係る費用助成	茶園基盤整備に係る費用助成	茶園基盤整備に係る費用助成		
事業費(単位:千円)	補助率	62	0	250	4,803		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
その他							
一般財源		62	0	250	4,803		

## 4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)	
	補助	単独
負担金、補助及び交付金		
補助金	令和3年8月豪雨で被災した茶園基盤復旧に係る費用助成	26,100
	【今回補正(減額)】	-21,297
計		4,803

## 5. その他参考となる事項

補正前事業費 26,100 千円  
 3月補正事業費 △ 21,297 千円  
 (補正財源内訳) 一般財源 △ 21,297 千円

補正後事業費 4,803 千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	茶園農道整備事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	57	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨災害で被災した茶園への農道を早期に復旧するため土砂等を撤去し来季における良質茶の生産を図る。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨災害で被災した茶園農道復旧に係る経費に対して助成を行う。

3. 全体計画		事業期間 平成 年度 ~ 令和 年度				事業費(千円)
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業内容		茶園農道整備に係る費用助成	茶園農道整備に係る費用助成	茶園農道整備に係る費用助成	茶園農道整備に係る費用助成	
事業費(単位:千円)	補助率	500	0	0	1,500	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
一般財源		500	0	0	1,500	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金			
補助金	令和3年8月豪雨で被災した茶園農道復旧に係る費用助成		4,200
	【今回補正(減額)】		-2,700
計			1,500

5. その他参考となる事項

補正前事業費	4,200 千円
3月補正事業費	△ 2,700 千円
(補正財源内訳) 一般財源	△ 2,700 千円

補正後事業費 1,500 千円

【様式1】 **令和3年度** 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 4 茶業振興費	事業名	営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業						
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業					
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	57	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨により茶園より流出した肥料農薬を補助することにより農業者の早期の営農再開と経営の安定を図る。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨で被害を受けた茶園への肥料農薬等の県補助が創設されたことに伴い市の上乗せ補助を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和3年度	～	令和	年度	事業費(千円)
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容						肥料農薬等購入に係る費用助成	
事業費(単位:千円)	補助率						32,708
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金	1/3					16,643
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
その他							
一般財源						16,065	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)
内容		補助 単独
負担金、補助及び交付金		
補助金	令和3年8月豪雨で流出した肥料農薬等購入に係る費用助成	49,600
	【今回補正(減額)】	-16,892
	計	32,708

5. その他参考となる事項

補正前事業費	49,600 千円
3月補正事業費	△ 16,892 千円
(補正財源内訳) 県支出金	△ 8,157 千円
一般財源	△ 8,735 千円
<b>補正後事業費</b>	<b>32,708 千円</b>

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	経営体育成支援事業					
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野		①農業		
実施主体	市		所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書ページ	57	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

令和3年8月豪雨により被災した防霜ファン復旧に係る経費を補助することにより農業者の早期の営農再開と経営の安定を図る。

2. 事業内容

令和3年8月豪雨により被災した防霜ファン復旧に係る経費への県補助が創設されたことに伴い市の上乗せ補助を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 3 年度 ~ 令和 年度				事業費(千円)
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	補助率	
事業内容					防霜ファン復旧に係る費用助成		
事業費(単位:千円)						0	
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	市債						
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源							

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金			
補助金	令和3年8月豪雨で被災した防霜ファン復旧に係る費用助成	1,200	
【今回補正(減額)】		-1,200	
計		0	

5. その他参考となる事項

補正前事業費	1,200 千円
3月補正事業費	△ 1,200 千円
(補正財源内訳) 県支出金	△ 900 千円
一般財源	△ 300 千円
補正後事業費	0 千円

【様式1】 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 9 農業農村整備費	事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業					
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	58	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

老朽化した農業水利施設で、既存の施設の有効活用を図りつつ機能を効率的に保全するきめ細かい対策を講じる。

2. 事業内容

施設の維持 式浪頭首工 塗装設計・工事  
 施設の維持 塩田東部土地改良区 水門等の補修・更新

3. 全体計画	事業期間	平成 26 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	313,629	
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業内容	頭首工・排水機 場等整備補修 5ヶ所	排水機場補修 2ヶ所等	排水機場補修 設計等	式浪頭首工補 修	
事業費(単位:千円)	補助率	117,322	117,322	14,832	33,580
財源内訳					
国庫支出金	50%	65,290	65,290	6,520	14,000
県支出金	15%	9,790	9,790	1,890	4,200
市債	90%	10,800	10,800	2,532	7,300
ふるさと応援寄附金					
その他	10.5%	9,130	9,130	1,291	1,659
一般財源		22,312	22,312	2,599	6,421

4. 本年度の事業費内訳	内容	予算額(単位:千円)	
		補助	単独
委託料	塗装工事	2,800	200
	【今回減額補正】		
	事業計画変更による減額	-1,800	
工事請負費	塗装工事	25,200	1,300
	【今回追加補正】		
	事業計画変更による増額	1,800	
負担金、補助及び交付金	(補助金)塩田東部土地改良区		3,105
	【今回追加補正】		
	事業計画変更に伴う負担金の増額		975
	計	28,000	5,580

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 32,605 千円  
 3月補正事業費 975 千円

(補正財源内訳)

市債 1,200 千円  
 鹿島市分担金 △ 1,281 千円  
 一般財源 1,056 千円

補正後事業費 33,580 千円

(内訳)

補正前 塩田土地改良区 11,500千円×24.5%=2,817,500円  
 土地改良連合会賦課金 11,500千円×2.5% = 287,500円  
 補正後 土地改良連合会賦課金 39,000千円×2.5% = 975,000円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	指定農道ふるさと農道整備事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野		①農業	
実施主体		市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	58	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

通行量が多い基幹的な農道を適正に維持管理し、通行の安全確保や農業経営の安定に寄与する。

2. 事業内容

R2年度より実施している基幹農道整備事業として引き続き五町田中村線の舗装工事を行う。

3. 全体計画		事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 年度	事業費(千円)	93,080
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容				五町田・中村線 舗装工事	五町田・中村線 舗装工事
事業費(単位:千円)		補助率		40,800	52,280
財源内訳					
国庫支出金		50%		20,000	24,000
市債		90%,100%		18,000	22,300
ふるさと応援寄附金				2,000	
その他					
一般財源				800	5,980

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	指定農道草刈業務・土砂撤去等業務委託		995
工事請負費	指定農道維持管理事業(坊主原幹線舗装工事)		2,000
	五町田中村線舗装工事	33,000	1,000
	【今回追加補正】 補助の内示増額に伴う増額	15,000	
原材料費	道路整備用材料		74
負担金、補助及び交付金	(負担金)佐賀県土地改良団体連合会特別賦課金		101
	【今回追加補正】 補助の内示増額に伴う増額		110
計		48,000	4,280

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	37,170 千円
3月補正事業費	15,110 千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	7,500 千円
市債	7,500 千円
一般財源	110 千円
補正後事業費	52,280 千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 9 農業農村整備費	事業名	農業用施設整備事業					
総合計画による位置づけ		基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野		①農業			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	58	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

農業の振興を図るため、農業用施設の整備事業を行う行政区及び共同施工者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

2. 事業内容

農業の振興を図るため、農業用施設の整備事業を行う行政区及び共同施工者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

3. 全体計画		事業期間	令和 年度	～ 令和 年度	事業費(千円)
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容		農業用施設整備事業	農業用施設整備事業	農業用施設整備事業	農業用施設整備事業
事業費(単位:千円)	補助率	4,500	4,000	3,000	14,982
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	ふるさと応援寄附金				5,000
その他					
一般財源		4,500	4,000	3,000	9,982

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	農業用施設整備事業		8,100
	【今回追加補正】		
	補助の内示増額に伴う増額		6,882
	計		14,982

5. その他参考となる事項

予算事業費(～12月)	8,100 千円
3月補正事業費	6,882 千円
(補正財源内訳)	
一般財源	6,882 千円
補正後事業費	14,982 千円



【様式1】

## 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	多面的機能支払交付金事業			
総合計画による位置づけ			基本方針			進化と創造、活力みなぎるまちづくり		政策分野	①農業		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		予算書ページ	58	新規	継続	○

## 1. 事業の目的・効果

農村環境共同活動により整備補修し、農村地域における資源や環境の保全と質的向上を図る。  
農地・農業用水等の資源や環境の良好な保全と質的向上が図られ、地域の共助活動が再構築される。

## 2. 事業内容

農村地域における農道・水路・田・畑・ため池・パイプライン等施設の維持・補修及び環境保全活動。  
農地維持支払・資源向上支払(共同活動)・・・38地区  
資源向上支払(長寿命化)・・・29地区

3. 全体計画	事業期間	平成 26 年度 ~ 令和	年度	事業費(千円)	244,118
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業内容	農地等の保全 管理、施設補 修・更新	農地等の保全 管理、施設補 修・更新	農地等の保全 管理、施設補 修・更新	農地等の保全 管理、施設補 修・更新	
事業費(単位:千円)	補助率	63,217	60,462	61,111	59,328
財源内訳					
国庫支出金	50%	30,878	29,594	29,950	30,234
県支出金	25%	15,135	14,357	14,672	14,102
市債					
ふるさと応援寄附金					
その他		596			140
一般財源		16,608	16,511	16,489	14,852

## 4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
報酬		補助	単独
		436	1,152
	【今回追加補正】		
	事業費確定による補助対象額の変更	1,139	-1,139
職員手当等			338
共済費			335
旅費	普通旅費 5,000円		5
	【今回減額補正】		
	新型コロナウイルス感染症感染拡大による研修会不参加のため減額		-5
需用費	消耗品費		30
役務費	通信運搬費		30
委託料	農地・水多面的機能推進協議会(実績報告確認業務)	476	
	【今回減額補正】		
	事業費確定による補助対象額の減額	-113	
負担金、補助及び交付金	多面的機能支払交付金事業活動組織	60,447	
	【今回減額補正】		
	事業費確定による補助対象額の減額	-3,943	
償還金、利子及び割引料	多面的機能支払交付金償還金(過年度県補助金)	140	
	計	58,582	746

## 5. その他参考となる事項

当初予算事業費	63,389 千円
3月補正事業費	△ 4,061 千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	△ 1,274 千円
県支出金	△ 637 千円
一般財源	△ 2,150 千円
補正後事業費	59,328 千円



【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路橋りょう新設改良費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(市道調査・改良)						
総合計画による位置づけ				基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	⑦道路・交通		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	64	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市道防災事業路線の測量・調査・対策工事を行う。

3. 全体計画	事業期間	平成 23 年度	～ 令和 年度	事業費(千円)	
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容		市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良
事業費(単位:千円)	補助率	36,716	64,997	342,758	104,798
国庫支出金	52.50%	18,007	33,007	177,899	52,603
財源内訳					
県支出金					
市債	90%・100%	13,900	28,900	139,800	18,600
ふるさと応援寄附金					
その他					
一般財源		4,809	3,090	25,059	33,595

4. 本年度の事業費内訳

内 容	予算額(単位:千円)		
	補助	単独	
委託料	29,000	1,300	
	【今回追加補正】 国の追加内示による	27,400	1,800
工事請負費	44,300	1,500	
	【今回減額補正】 事業費清算による	△ 502	
計	100,198	4,600	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	76,100 千円
3月補正	28,698 千円
(補正財源内訳)	
国庫支出金	14,121 千円
市債	△ 300 千円
一般財源	14,877 千円
補正後事業費	104,798 千円

【様式1】 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業(橋りょう補修整備)					
総合計画による位置づけ	基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	⑦道路・交通				
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	64	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3. 全体計画	事業期間	令和2年度	～	令和3年度	事業費(千円)	90,963
	実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	事業内容			橋梁補修設計	橋梁補修設計・工事・定期点検	
	事業費(単位:千円)	補助率		9,500	81,463	
財源内訳	国庫支出金	57.75%		5,197	45,885	
	県支出金					
	市債	90%			11,900	
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源			4,303	23,678	

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	補助	単独
委託料	橋梁定期点検、補修設計	34,900	500
	【今回追加補正】国の追加内示による	13,263	500
工事請負費	橋梁補修工事	31,300	1,000
計		79,463	2,000

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	67,700 千円
3月補正	13,763 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金 7,656 千円
	一般財源 6,107 千円
補正後事業費	81,463 千円

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	11 災害復旧費	項	2 公共土木施設災害復旧費	目	1 現年公共土木施設災害復旧費	事業名	現年公共土木施設災害復旧事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野	①消防・防災			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課		予算書ページ	77	新規	継続	○	

1. 事業の目的・効果

現年発生した公共土木施設災害を復旧することにより、民生の安定を図る。

2. 事業内容

8月豪雨により被災した公共土木施設の災害復旧にかかる測量設計、崩土等の除去及び工事を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成	年度	～	令和	3	年度	事業費(千円)	657,425	
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
事業内容		公共土木施設 災害復旧事業									
事業費(単位:千円)		補助率						657,425			
財 源 内 訳	国庫支出金	66.67%						327,000			
	県支出金										
	市債	100%						192,200			
	ふるさと応援寄附金										
その他											
一般財源								138,225			

4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
旅費	普通旅費		240
需用費	消耗品費		912
委託料	測量設計業務		81,300
	【今回減額補正】 事業費精算による		△ 8,000
	崩土等除去(重機対応)業務		28,000
	災害仮設物管理業務		2,000
	【今回減額補正】 事業費精算による		△ 196
使用料及び賃借料	仮設信号機		1,232
	災害対応機材リース料		1,761
	【今回減額補正】 事業費精算による		△ 400
	コピー機使用料		436
工事請負費	公共土木施設災害復旧	490,500	59,300
原材料費	災害復旧材料		640
	【今回減額補正】 事業費精算による		△ 300
計		490,500	166,925

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	21,802 千円
8月専決補正	83,522 千円
11月補正	560,561 千円
12月補正	436 千円
3月補正	△ 8,896 千円
(補正財源内訳)	一般財源 △ 8,896 千円
補正後事業費	657,425 千円

※地すべり調査観測測量設計業務(木場地区)は含めず

【様式1】

## 令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 1 都市計画総務費	事業名	宅地耐震化推進事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	②自然と都市					
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	予算書ページ	66	新規	○	継続

## 1. 事業の目的・効果

宅造法の改正に伴う第一次スクリーニング調査による大規模盛土造成地マップの公表を受けたことにより、大地震時における滑動崩落や液状化による宅地の被害の軽減を図るため、第二次スクリーニング計画の作成を行い、住民への情報提供を図るとともに、対策工事等の予防対策を推進していく。

## 2. 事業内容

佐賀県において実施された第一次スクリーニング調査で抽出した大規模盛土造成地箇所における第二次スクリーニング計画の作成を行い、優先度を評価する。  
対象箇所数 12ヶ所

3. 全体計画	事業期間	令和3年度	～	令和3年度	事業費(千円)	5,500
	実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	事業内容				第二次スクリーニング計画作成	
	事業費(単位:千円)					5,500
	補助率					50%
財源内訳	国庫支出金					2,500
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					3,000

## 4. 本年度の事業費内訳

内 容		予算額(単位:千円)	
		補助	単独
委託料	第二次スクリーニング計画作成業務	5,000	500
	計	5,000	500

## 5. その他参考となる事項

## 【これまでの経過】

阪神大震災、東日本大震災等による盛土造成地の被害を受け、今後の予防対策を進めるに当たり、事前調査を全国的に行うようになり、佐賀県においても、令和元年度に県内3地区(東部・中部・西部)に分け、第一次スクリーニング調査が実施された。

## 【第一次スクリーニングの調査内容】

現況地形図と旧地形図を重ね合わせ、盛土造成地の規模を把握、抽出し大規模盛土造成地マップを作成。(県ホームページにて公表)

- ①谷埋め型大規模盛土造成地 盛土の面積が3,000㎡以上(市内10ヶ所)
- ②腹付け型大規模盛土造成地 盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ盛土の高さが5m以上(市内2ヶ所)

## 【事業の流れ】

第一次スクリーニング(大規模盛土造成地マップ作成) → 第二次スクリーニング計画の作成(優先度評価) → 第二次スクリーニングの実施 → 対策工事

【様式1】

令和3年度 3月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	大チャノキ再生事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	73	新規	継続	○

1. 事業の目的・効果

国の天然記念物である「嬉野の大チャノキ」は茶樹の代表的巨樹として学術的評価も高いため、再生事業を実施することで健全な樹勢が保たれ、嬉野市の財産として将来へと引き継ぐことができる。

2. 事業内容

国の天然記念物である大チャノキは、20年ほど前から茶葉の黄変(萎黄病)が確認され、樹木の東側を中心に徐々に広がり樹勢が弱まる傾向にある。このため、令和2年度は国及び県の天然記念物再生事業を活用し、樹勢回復のための調査診断を専門機関へ委託するとともに、大チャノキに特化した専門部会を立ち上げ共通認識を図った。令和3年度は令和2年度の調査診断の結果をふまえ、工事及び専門機関への業務委託により樹勢回復を図る予定であったが、排水状態については調査診断の結果が概ね良好であったため、排水工事は行わないこととした。

3. 全体計画		事業期間 令和 2 年度 ~ 令和 3 年度 事業費(千円) 6,050			
実施年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容				大チャノキ再生事業	大チャノキ再生事業
事業費(単位:千円)	補助率			2,500	3,550
財源内訳					
国庫支出金	1/2			1,250	1,774
県支出金	18%			450	637
市債					
ふるさと応援寄附金					
その他					
一般財源				800	1,139

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
報酬	委員報酬 5,700円×5人×3回=85,500円	86	
報償費	学識者指導 20,000円×3回=60,000円	60	
旅費	(費用弁償)文化庁指導、委員等旅費 84,000円	84	
需用費	(消耗品費)事務用品 30,000円	30	
委託料	樹勢回復業務 一式 2,216,500円	2,217	
	【9月追加補正】萎黄病消長調査費 一式 1,073,000円	1,073	
工事請負費	樹勢回復(排水工) 一式 6,567,000円	6,567	
	【今回減額補正】		
	排水工事を中止したことによる減額	△ 6,567	
	計	3,550	

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	9,044 千円
9月補正事業費	1,073 千円
3月補正事業費	△6,567 千円
(補正財源内訳) 国庫補助金	△3,284 千円
県補助金	△1,183 千円
一般財源	△2,100 千円
補正後事業費	3,550 千円
事業の名称	天然記念物再生事業
文化財の名称	嬉野の大チャノキ(国指定天然記念物)

**令和 3 年度 3月補正予算 主要な事業の説明書**

**(国民健康保険特別会計)**

**令和4年 第1回 嬉野市議会定例会提出**





